

24年度 実技部事業報告(案)

まず、最初に入院、退院を昨年度繰り返し部会も23年度は1度も開催しないまま、今日に至りました事につきましては、保存会会員の皆様には心よりお詫を申し上げます。それでも、どうか総会前に開催する事とし、実技部の部会第1回開催を平成24年7月11日(水)に開き部員との交流を深めました。

さて、本題の実技部の主な(活動案)として、歌、太鼓の「歌唱」及び「演奏」の指導を行うことが、明記されております。

まず、この事については、現在の鹿嶋祭の現状について申し上げますと2～3の鹿嶋船より観賞できないことから、他町内会の歌、太鼓について聞いた事がないことを各部員より出されました。この事については、各町内会の鹿嶋船が1か所に集結し、各町内の船を見せ、見物者にも観賞してもらい各町内会に帰る、この構想が昭和60年頃に一部新町内会より出されておりましたが否決され、現在にいたるも実現しておらず、今日に至っております。

しかし、この件が解決しなければ統一された物事に対しても実現は成らないと思いますし、しかも、現在の鹿嶋太鼓にしても、統一されてない現状を実技部の会議で知らされ、びっくりしております。

しかし、実技部としては、早急にこの事を深く受け止め、来年度に向けた取り組みを講じて行きわたるような、対策を考えてもらいたいと思います。

また、「歌」についても、鹿嶋船に伝わる歌として参加者に唄えるよう(CD)を南団地町内会より借用して各町内に配布か、貸し出しかを予算の関係もありますので後日事務局と相談し、実施して行きたいと思っております。

また、鹿嶋囃となれば、太鼓に笛が付き物ですし、沖田町内会では日吉神社から頂いた笛3本を交え(足りない分神社から5本購入)平成20年ころより笛、太鼓で現在では笛5本を交え、鹿嶋囃なるものを演奏しております。

今後については、笛について各町内会でも考えてもらえればと思っております。